

## 5 本時の学習（第二次中4時）

### (1) 本時のねらい

前回の結果から自分たちのチームの現状を把握し、実態に合った練習メニュー（作戦）を選び練習することができる

### (2) 本時における学ぶ楽しさ

それぞれのチームが自分たちの実態を把握した上で、ゲームに勝つための練習をし、それを生かしてゲームに臨む楽しさ

### (3) 展開

時	学習活動と子どもの姿	学ぶ楽しさを味わうための手だて
5	1. 準備運動	
15	2. 練習メニューを考え練習する  <自分のチームにはどんな練習が必要かな> ○チームに必要な練習メニューを選ぼう ・バットで球を遠くへ飛ばす練習が必要だから、トスバッティングをしよう ・走塁を味方の声に合わせてするようなベースランニングをしたらどうかな ・遠くに飛んでいった球を中継して早く戻って来れるように距離を考えてキャッチボールの練習をすると思うよ ・ノックをするから守備のカバーやフォローの動きを確認しながら練習したいな ・いろいろ練習したいけど、一番大切なのに多く時間を使おう	(1)特性・魅力を味わうルールと場づくりをする 練習をする際に、限られた場所の中で運動の特性を味わわせるために、新聞で作ったボールを使わせる。  (2)考えや動きのイメージを共有できるようにする 何を上達させるための練習なのかを明確にするために、練習の仕方と目的を見て分かるようにワークシートに書かせる。
20	3. ゲーム ○練習を生かしてゲームをしよう（1チーム8分×2） ・トスバッティングで教えてもらったフォームで打つぞ ・走塁はベースランニングで練習したみたいに、味方の声をよく聞いて走らないと ・ボールが遠くに飛んでいったから、カバーの動きで進塁を防ごう ・練習したように声をかけ合ってやらないとね	
5	4. ふりかえり ○練習の成果はあったかな ・トスバッティングで、ボールにバットをしっかりと当てて遠くに飛ばせるようになったよ ・味方の指示をしっかりと聞いて走塁できるようになったよ ・守備の動きも教えてもらって分かったよ ・声の指示のおかげで、自分だけじゃ気付かなかったことに気付けたよ	(3)動きの変化を実感できるようにする ふりかえりをする際、技能向上に練習がどのように効果があったかを認識するために、そのような観点で話をさせる。

ゲームで勝つために自分たちで考えた練習メニューのおかげで上達することができたよ。次ももっと上達するためにどんな練習をしたらいいか考えたいな。